

# 徳島市民病院

# 地域医療連携だより



〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室  
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

## 徳島市民病院の理念

# 「思いやり・信頼・安心」

## 回復期リハビリテーション病棟の新設

リハビリテーション科主任医長：河野 光宏

朝夕、涼しくなってきましたが、各病院施設の皆様にはお変わりなくご健勝のことと存じます。また日頃の連携のご協力誠に有難うございます。



さて当院は新築にあたりワンフロアすべてリハビリ関連の病棟を新設いたしました。そのうち回復期リハビリテーション病棟は40床、専従医1名、看護師18名体制となっております。リハビリテーション科の療法士は今年度よりOT（作業療法士）とST（言語聴覚士）が1名ずつ増員になり、急性期・回復期合わせましてPT（理学療法士）5名、OT2名、ST2名となっております。

回復期リハ病棟の疾患内訳は、脳卒中疾患4割、整形外科疾患5割、内科・外科廃用性疾患1割であり、急性期の患者

様でリハビリ治療が必要な方はできる限り早期に（点滴終了程度）転棟し、病状が落ち着きましたら自宅あるいは連携する病院・施設に退院していただいております。

また脳卒中疾患では脳外科医と連携し、超急性期からリハビリ治療を開始しており、特に食事ができない（摂食・嚥下障害）患者様には、STの嚥下訓練とVF（嚥下造影）、IOE（経口食道栄養）、NST（栄養サポートチーム）にて評価を行い、病棟摂食訓練のほか口から食べやすい形態（液体・ゼリー～固形）を管理栄養士と連携して積極的に嚥下リハ治療を行っております。

当院の回復期リハビリ病棟は救急病院という性格上、患者様が連携病院・施設に転院可能で安定した状態になれば退院という方針でございます。よって当病棟から転院時には旧病院の時と比べ、安静度や基本動作も改善していると思っておりますので今後ともご理解ご協力のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 統計コーナー

### 診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科名	7月					6月		5月			
	初診患者数(A)	初診時間外(B)	初診紹介患者(C)	初診即入院(D)	逆紹介患者(E)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	紹介率(%)	逆紹介率(%)		
内科	341	152	106	27	69	56.3%	34.7%	59.1%	31.7%	52.0%	34.1%
小児科	344	184	120	95	68	69.6%	35.6%	52.7%	45.5%	64.0%	53.7%
外科	206	38	143	13	100	83.4%	57.1%	82.6%	59.3%	84.0%	45.1%
整形外	285	41	167	12	289	68.8%	117.0%	68.7%	101.2%	66.5%	100.5%
脳神経	129	40	47	15	92	56.6%	92.9%	46.7%	66.4%	57.6%	86.9%
皮膚科	76	19	13	0	3	22.8%	5.3%	20.4%	16.3%	31.5%	11.1%
泌尿器	73	13	33	4	29	54.1%	47.5%	60.0%	34.0%	61.7%	30.0%
産婦人	92	12	42	7	6	50.6%	7.2%	43.9%	33.3%	43.7%	17.2%
眼科	29	4	8	0	18	32.0%	72.0%	41.2%	52.9%	42.1%	57.9%
耳鼻咽	18	3	3	0	7	20.0%	46.7%	26.7%	26.7%	5.9%	5.9%
放射線	62	0	62	0	83	100.0%	133.9%	98.4%	138.1%	97.6%	170.7%
合計	1,655	506	744	173	764	64.1%	62.9%	61.5%	61.3%	61.1%	58.2%

※おかげさまで、地域医療支援病院の要件である平均紹介率60%以上が達成できました。今秋、地域医療支援病院の名称承認の申請をする予定です。

今後とも、よろしくお願いいたします。

平成20年7月の紹介患者数（再診患者を含む）  
293医療機関より1,006名ご紹介いただきました。  
ありがとうございました。



## 臨床研修医の研修記録

### 臨床研修医 大久保 文



初期研修がはじまって4ヶ月が過ぎようとしています。学生生活が終わった後にもかかわらず、学生気分が抜けきらなかった4月は、正直まだ臨床実習をしている様でした。指導医の先生に色々指示を受けながら、患者さんを診察し、当直も初めて経験し、全てが新鮮でした。またどんな小さなことでも「これでいいのだろうか?」と不安が強く、指導医の先生にとっても助けていただいたのを思い出します。

段々と職場に慣れていった5月は、外科をローテイトしており、乳がんという疾患に興味を覚えました。患者さんは女性ばかりで親しみやすく、また触診なども「どうぞ」と拒否感なくさせていただけました。今思うと、「女医のほうが得なこともある」という感情を初めて持った時だったように思います。

6月からは麻酔科をまわらせてもらい、初めての挿管を体験しました。「早く、かつ安全に、絶対」の医療行為を行わなければならない、という

プレッシャーで始めは朝が憂鬱でした。しかし、段々とラインがとれるようになり、挿管も成功するようになると、それまでにはなかった達成感を得ることができました。

7月の1ヶ月は救急医療を体験し、短いながらも鑑別診断をつける難しさを知りました。教科書どおりではないのももちろん、教科書に近い症状の患者さんがきても、全くわからないことがあるのだと、身をもって感じさせられました。

この4ヶ月はとても充実しており、意欲をもって研修できていると思います。この気持ちを忘れず、残りの研修に挑みたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。



### 臨床研修医 寺田 知正



徳島市民病院で研修を始めてから4ヶ月が過ぎました。日々学ぶことが多く、毎日がとても充実しています。

私は研修を外科から始めさせてもらい、4ヶ月間で外科の研修を修めさせていただきました。今は、麻酔科を研修させてもらっています。

外科での研修では、糸結びや縫合、術前・術後の管理、患者様に対する接し方など、医師として本当に基本的な事から教えていただきました。何も分かっていない私に、朝早くから夜遅くまで付き合っていて丁寧に教えていただき、時には厳しく指導され、時には楽しく勉強しながら毎日がとても早く過ぎていきました。外科学のさわりを少し教えていただいただけですが外科学の魅力はとても伝わってきました。そして外科の研修が終わった時は、とても寂しく感じました。

一番印象に残ったのは、患者様から、『先日はありがとうございました。先生方のおかげで病気も治り、無事退院することができました。これからも精進して頑張ってください。』とのお手紙を頂いたことです。そうか私は医師になったのだと実感するとともに、医師として、患者様に対して常に責任のある医療をしていかなければならない、そのためには、常に学び続けなければいけないと再認識しました。

まだまだ若輩ですが、先輩医師の皆様、指導医の方々に恵まれているので、少しでも早く患者様に適切な医療ができるよう頑張っていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



## 整形外科症例検討会(2金会)のご案内

次のとおり、整形外科症例検討会(2金会)を開催いたします。整形外科の先生方は勿論、他科の連携医の先生方も是非ご参加ください。

とき 平成20年9月12日(金) 19時30分～

ところ 徳島市民病院3階 会議室

内容 人工股関節置換術における出血対策

～トラネキサム酸使用の有無による周術期出血量の比較～

整形外科主任医長 中村 勝

—特別講演—

『抗凝固療法とレミフェンタニル』

麻酔科医長 曾我 朋宏



## 外来診療担当医師の臨時変更



変更日	科目	区分	変更前	変更後
平成20年9月 5日(金)	内科	三診	河野	休診
平成20年9月 5日(金)	内科	一診	辻	休診
平成20年9月 5日(金)	小児科	—	岸	休診
平成20年9月 8日(月)	小児科	—	岸	休診
平成20年9月10日(水)	小児科	—	森	休診
平成20年9月10日(水)	整形外科	—診	湊	休診
平成20年9月12日(金)	内科	二診	杉田	休診
平成20年9月12日(金)	脳神経外科	一診	藤本	休診

※発行日時点の情報です。今後、変更する場合があります。